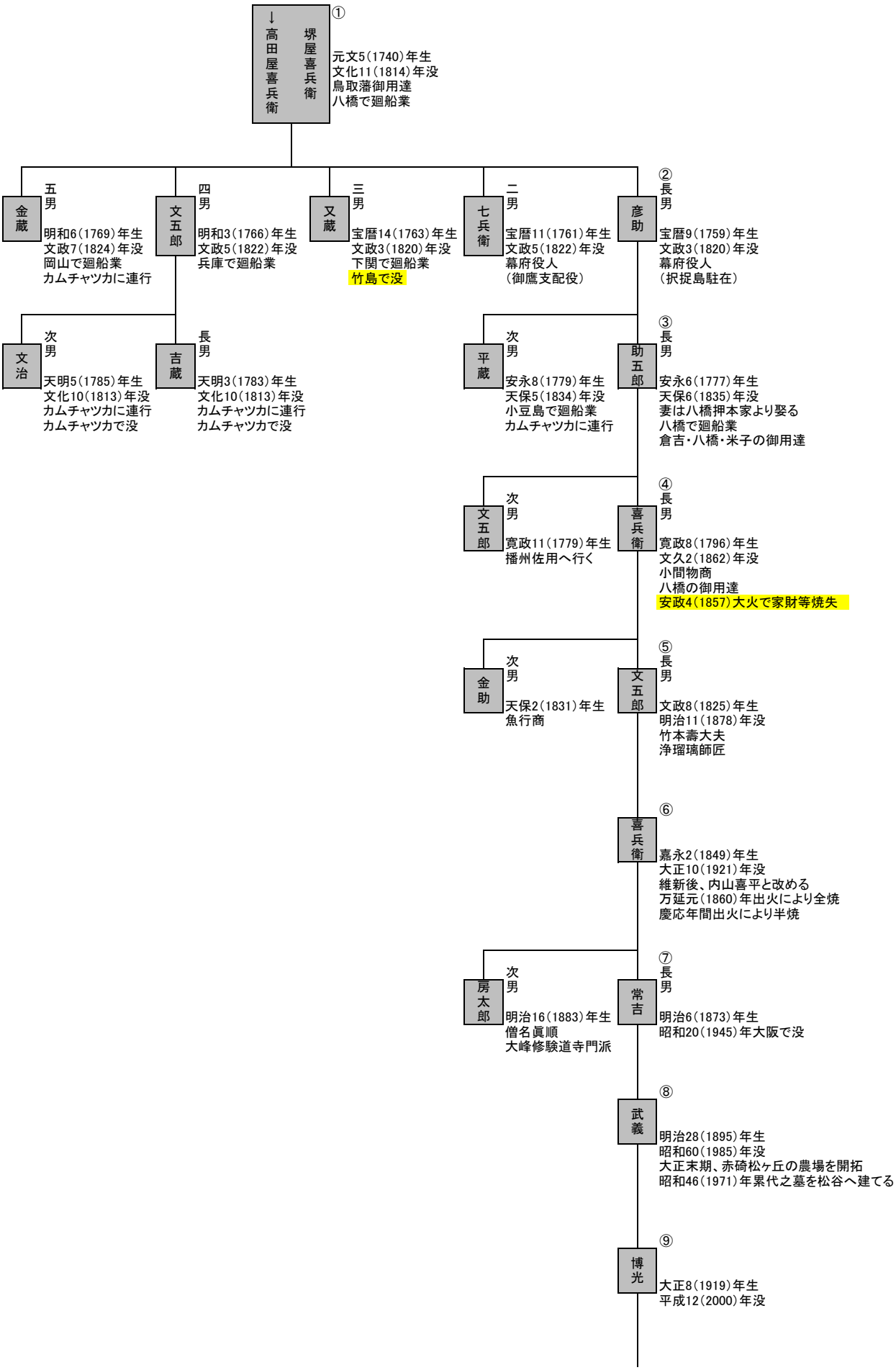
【別紙 3】


①
↓高田屋喜兵衛
堺屋喜兵衛
元文5(1740)年生
文化11(1814)年没
鳥取藩御用達
八橋で廻船業
五男
金蔵
明和6(1769)年生
文政7(1824)年没
岡山で廻船業
カムチャツカに連行
四男
文五郎
明和3(1766)年生
文政5(1822)年没
兵庫で廻船業
三男
又蔵
宝暦14(1763)年生
文政3(1820)年没
下関で廻船業
竹島で没
二男
七兵衛
宝暦11(1761)年生
文政5(1822)年没
幕府役人
(御鷹支配役)
②
長男
彦助
宝暦9(1759)年生
文政3(1820)年没
幕府役人
(択捉島駐在)
次男
文治
天明5(1785)年生
文化10(1813)年没
カムチャツカに連行
カムチャツカで没
長男
吉蔵
天明3(1783)年生
文化10(1813)年没
カムチャツカに連行
カムチャツカで没
次男
平蔵
安永8(1779)年生
天保5(1834)年没
小豆島で廻船業
カムチャツカに連行
③
長男
助五郎
安永6(1777)年生
天保6(1835)年没
妻は八橋押本家より娶る
八橋で廻船業
倉吉・八橋・米子の御用達
次男
文五郎
寛政11(1779)年生
播州佐用へ行く
④
長男
喜兵衛
寛政8(1796)年生
文久2(1862)年没
小間物商
八橋の御用達
安政4(1857)大火で家財等焼失
次男
金助
天保2(1831)年生
魚行商
⑤
長男
文五郎
文政8(1825)年生
明治11(1878)年没
竹本壽大夫
浄瑠璃師匠
⑥
喜兵衛
嘉永2(1849)年生
大正10(1921)年没
維新後、内山喜平と改める
万延元(1860)年出火により全焼
慶応年間出火により半焼
次男
房太郎
明治16(1883)年生
僧名眞順
大峰修験道寺門派
⑦
長男
常吉
明治6(1873)年生
昭和20(1945)年大阪で没
⑧
武義
明治28(1895)年生
昭和60(1985)年没
大正末期、赤碕松ヶ丘の農場を開拓
昭和46(1971)年累代之墓を松谷へ建てる
⑨
博光
大正8(1919)年生
平成12(2000)年没